

2月6日のJR嵯峨野線における車両確認の原因と対策について

2023年2月6日、JR嵯峨野線京都駅における車両の確認により列車の遅れを発生させた事象について、原因が判明しましたので当面の対策と合わせてお知らせします。

ご利用のお客様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めます。

1 発生日時

2023年2月6日（月）12時23分頃

2 発生場所

嵯峨野線（山陰本線）京都駅 構内

3 列車名

上り普通電車 4両編成

亀岡駅（11時57分）発 京都駅（12時24分）行、ご乗車のお客様：約320名

4 概況

12時23分頃、大阪指令所の指令員は、当該電車の運転士から京都駅入駅中に停車した旨の連絡を受けました。そのため、車両および線路の確認を行い、13時07分に京都駅の所定停止位置まで運転を再開しました。引き続き、線路の確認を行いましたが、異常がないことが確認できたため、13時55分に全線通常速度で運転を再開しました。

※ご乗車のお客様（約320名）については、12時37分頃に先頭車両（1号車）の前よりのドアから降車いただきました。

※ご乗車のお客様にお怪我はありません。

5 列車影響

<運休>計20本（上下各10本 部分運休含む）

<遅れ>上り普通電車〔亀岡駅（12：17）発 京都駅（12：44）行〕が69分遅れたのを最大に、計47本（上り26本、下り21本）に69分～5分の遅れ

影響人員：約19,000人

6 原因

浸水により車両異常挙動検知システムの回路が短絡し、装置が動作したためです。

7 対策

浸水の可能性がある部位に浸水防止処置を行います。